

目標達成計画

作成日：平成 28年 2月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 23 25	継続して、認知症が進行しても、一人ひとりの人格やあるがままの姿を尊重していくことができるようにする。些細な変化にも気づき、今後も継続してその人に合った支援を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> 一人の「人」として、あるがままの姿を受け、尊重する。 さらに『気づきの力』の向上を図り、一人ひとりの現状を的確に把握する。 アセスメントやチェック表を活用して、情報を共有して、より良い支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士、お互いに適切な言葉遣いや支援方法かチェックしていく。 アセスメントやチェック表を確実に実施する。 一人ひとりの状況や状態を把握して、職員全体で共有する。 情報を共有し、会議等で支援方法について話し合っていく。 	12ヶ月
2	48	家事活動や余暇活動など、入居者本人に「やりたい」と思ってもらえるものにした。身体も動かす機会を確保したい。つい職員が行ってしまう家事活動を行なってもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> 役割や楽しみを見つける。 体調を考慮しながら、1日1回は何かしらの家事活動を行う。 一人ひとりに合った役割や楽しみごとを見つける。 家事活動などの役割を日課に取り入れる。 職員は「待つ」心を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに合わせた家事活動を見つけ、役割をつくる。 1人で家事活動を行っていることやられ感があるので、みんなで話しをしながら行う。 家事活動一覧表を定期的に更新し、共有し把握していく。 本人のやる気が出るような声かけを行なう。 道具等の点検をし、不備のあるものは改善したり、必要なものを整備するなど環境を整える。 	12ヶ月
3	49	体調が安定している人が増えてきたので、気分転換を図る機会を増やしたい。筋力低下を防止したい。	<ul style="list-style-type: none"> 外出のできる基礎体力をつける。 週に1回は外出する。 歩くこと、外の空気を感ずる楽しさを知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操以外に、リハビリ体操や昇降運度を行なっていく。 ちょっとした時間を利用して、散歩に行く。 天気が悪い日は1階のダイニングまで気分転換をしに行く。 すべての入居者に声をかける。 外出が難しい人でも自販機やウッドデッキを利用するなどして、外の空気に触れる機会をつくる。 1階へ用事がある時は一緒に行ってもらい、歩く機会をつくる。 地域のイベントを調べて出かける。 	12ヶ月
4	27	前回の目標でも取り組み、少し身につけてきたため、さらにより良い記録にしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 事実のみではなく、その前後の様子なども記載し、他の職員にもわかるような内容にする。 日々の様子やケアの実践、気づいたことや工夫したことを記入していく。 記入すべき内容を確実に記載していく。 職員が互いに記録内容についてアドバイスしあい、より良い記録にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 2015年度作成の用語集を更新、進化させていく。 内部研修を行なっていく。 記載すべき内容や時間について話し合っていく。 他の職員が記入した記録を読み、良いところを取り入れ、アドバイスしあう。 会議の中で意見を出し合う。 悩んだら、周りにアドバイスを求める。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。